

令和7年度 第4回 機械流通委員会議事録

開催日時 令和7年9月12日（金）午後1時00分

開催場所 東北遊商会議室

第1号議案 8月21日開催、全商協第1回機械流通委員会の結果報告に関する件

以下のとおり、全商協第1回機械流通委員会の結果報告がなされた。

1 副委員長の互選について

佐々木委員長より、「今年度の機械流通委員会副委員長として北大将委員を考えているが、ご賛同いただけるか確認したい」との発言があり、全委員賛成で、北大将委員が副委員長に任命された。

2 今期の委員会での検討事項等について

① 今期の各地区遊商での技能研修会について

今期の各地区遊商での技能研修会について、北副委員長より、以下のとおり機械流通運営部における検討内容の説明がなされた。

- ・ 筆記試験問題の選定基準として、昨年度複数の地区遊商で正答率が80%以下の問題を9問。正答率が高いが、中古遊技機流通事業従事者として重要となる問題を4問。新規の問題を6問。共通遊技盤枠に関する問題を1問選定した。

また、昨年と同様に地区遊商ごとに問題を10問追加し、全30問で筆記試験を行うことを想定している。

- ・ 座学共通資料は、「4 ぱちんこ遊技機の構造、点検について」の項目に、新たに主基板の共通化、遊技盤枠の共通化を追加した。
- ・ 実技試験は、全国で差異のない内容に統一されているため、前年と同様の内容で実施すること。

上記の内容について、全委員より問題無いことの確認が取れた。また、中部遊商が25日の週より技能研修会が開催されるため、早急に全商協の執行部に上程することになった。

(※本件は、執行部の承認が取れたため、8月22日に全商協事務局から、各3地区遊商事務局に資料を送付した。)

② 認定申請 ぱちんこ遊技機等点検確認済書の改正について

佐々木委員長より、「『認定申請 ぱちんこ遊技機等点検確認済書』の点検確認項目をスマパチとP機両方で使用できる様式に改正し、9月3日開催の中古機流通協議会で提案し、11月1日から施行予定である。また、点検確認日を基準とし、11月1日以降は新様式、それより前は旧様式とする予定である。書類作成システムの改修は、TSC社とシーズウェブ社が、地区の担当者と詳細の打ち合わせをお願いしたい。なお、機歴管理システムは改修の必要がない」と報告があった。また、前倒し認定が行われた際に検定機と認定機を判別するために構築した「認定機情報検索システム」に関して、製造番号が6桁しか入らないため、スマパチの7桁に対応できるよう、費用17万円（税別）をかけて改修するか協議したところ、関西遊商が部品供給に際し利用しているため、関西遊商内で一旦必要性を検討することになった。なお、認定機情報検索システムにランニングコストはかかっていないため、改修は行わずに、現状の機能のみで運用を続けて

いくことも特段問題は無い。

③ 遊技機取扱主任者の在籍確認について

健康保険証が新規に発行されなくなり在籍確認をどうするかについて、委員会で協議したところ、正規社員であることを確認するための代替書類として「厚生年金標準報酬決定通知書」を利用し、遊技機取扱主任者の住所確認として、運転免許証の写し、免許証が無い場合はマイナンバー、マイナンバーも所持していない場合は住民票を提出させてどうかとの意見が挙がった。本件を踏まえ、全商協で修正した「中古遊技機流通健全化に関する全国遊技機商業協同組合連合会規約」の改正案を、地区遊商で協議し、その結果を全商協に伝えるという流れになった。

④ 料金明細書の改正について

中古遊技機移動明細書について、中古機流通協議会の中古及び認定の要綱・要領等で様式として定められていないため、ダンプに繋がる料金に関する箇所の変更は行わず、型式名を増やす等、地区遊商で改正して利用しても問題がないかと関西遊商から質問があった。

また、関西遊商では中古遊技機移動明細書について、関西遊商の定款及び規約等で定義し、組合員への啓発運動も行っていると補足説明があった。なお、谷野担当役員より、料金に関する値上げも今後検討していただきたいとの意見が挙がった。

⑤ 紙ベース申請書類の組合員保管期間について

組合員が中古及び認定申請書類の web 申請時にアップロードする添付書類について、現在のところ組合員は期間の定めなく当面の間保管しているが、その保管期間について協議したところ、デジタルは真贋性の問題があるため、全ての添付書類を紙で、検定及び認定の最長期間である最大 3 年間保管するという意見にて委員会では話がまとまった。

本件は理事会に上程することで進め、また、山本副会長より本運用が実施された際には、半年又は 1 年後に実施状況を確認し、改めて検討してはどうかと意見が挙がった。

3 その他

- ・ 佐々木委員長より、「保証書の電子化については、継続審議しているため、進捗があった際には、当委員会でも説明する」との報告があった。
- ・ 國分担当役員より、「売買契約書の運用について、販社間でのつなぎ売契に関し、販社の業務負担を減らすために、電子化できないかを検討するためのプロジェクトチームを立ち上げていただけないか」との提案があった。
- ・ 「中古遊技機流通健全化に関する全国遊技機商業協同組合連合会規約」の改正案を各地区遊商で協議することとなっている。

上記報告を受け、「中古遊技機流通健全化に関する全国遊技機商業協同組合連合会規約」の改正案を各委員において 9 月 19 日までに検討し、その結果を踏まえた上で、全商協へ報告することとなった。また、遊技機取扱主任者の在籍確認については、上記規約が改正されるまでの間は、同改正案に準じて【厚生年金標準報酬決定通知書の写し】又は【雇用保険被保険者資格取得等確認通知書（事業主通知用）】により在籍確認を行うこととした。

2 第2号議案 令和7年度技能研修「更新研修会」に関する件

(1) 受講者数について

事務局より、9/12現在の受講者数が164名であること等が報告された。

(2) 各会場の担当試験官について

事務局より、各会場の担当試験官の出席可否の最終確認結果の報告がなされ、全試験官いずれも予定どおりに各会場へ出席することとなった。

(3) 筆記試験問題の作成及び全商協共通座学資料について

事務局より、全商協から本年度更新研修会用の【全国共通問題20問】及び【共通座学資料】を受領し、更新研修会用の試験問題を作成(全商協共通20問、当組合独自10問の計30問)したこと、共通座学資料については組合員へ差替えの周知文書を発出済みであることの報告がなされた。

(4) 試験用遊技機の搬送方法について

事務局より、各会場へ試験用遊技機を搬送する際、今回の搬送用車両が荷台後部の昇降装置がないタイプの車両であることの報告がなされ、荷下ろし等の際は破損がないよう対応することとなった。

(5) 更新研修会に係る諸経費について

事務局より、更新研修会に係る諸経費等の報告がなされ、必要備品については、随時購入することが異議なく了承された。

項目	内容	令和7年度	前年度
会場費	福島	32,540	32,540
	青森	45,210	45,210
	岩手	60,060	69,960
	宮城	59,400	0
遊技機運送費	サンライン社	231,000	220,000
試験官宿泊費	6日間合計	168,850	193,702
試験官昼食弁当費	6日間合計	60,400	55,570
試験官昼食飲料費	6日間合計	3,845	0
受講者用飲料費	6日間合計	0	25,096
JSS諸経費	動画作成・試験官派遣料など	688,930	766,700
備品等購入費	ファミネト、隣菓子折りなど	8,000	13,134
販社試験官所属会社への礼品	9社	40,000	41,925
	合計	1,398,235	1,463,837
		前年比△65,602	
			…未確定(概算)

3 第3号議案 新QR携帯端末に関する件

(1) 進捗状況等について

事務局より、中部遊商等から確認した新QR携帯端末の進捗状況等について報告がなされ、システム改修終了時期は早くも9月中、遅くても10月中には改修完了予定であること、費用の支払い期限は納品月の翌月末までとなることなどの報告がなされた。

(2) 端末の発注について

事務局より、端末の発注数については、【全取扱主任者の人数】 + 【組合用1台】 + 【予備2台】と決定しているところ、9月12日現在の端末必要数188台(取扱主任者185名+組合用1台+予備2台)で発注してよいか諮られ、審議した結果、委員会終了後、端末188台を発注することが異議なく了承された。

※キーエンス社製【DX-A800M(充電電池パック付き)】188台：合計28,200,000円(税別)

※納品は新端末に係るシステム改修終了後になるため、9月中又は10月の予定。

4 第4号議案 中古遊技機流通に関する件

(1) スマート遊技機動作確認ユニットについて

事務局より、本年4月に2年目の契約更新を行ったユニットについて、組合員へリセット依頼の文書を発出したこと、リセット期限は9月末日であることの報告がなされた。

(2) 廃棄遊技機の処理台数調査について

事務局より、例年業界6団体で構成されている遊技機リサイクル推進委員会からの要請による、全中古取扱販社(31社)に対する廃棄遊技機の処理台数調査結果の報告がなされた。集計結果は6頁のとおり。

(3) 納品設置時における通信トラブル以外の「理由書」について

事務局より、令和7年7月25日～9月11日の期間における、納品設置時の通信トラブル以外の理由書提出状況について5件報告された。

(4) 「早期発給」依頼について

事務局より、令和7年7月25日～9月11日の期間における、早期発給依頼は無かったことが報告された。

5 第5号議案 技能研修「新規研修会」に関する件

事務局より、技能研修「新規研修会」の開催状況等の報告がなされた。

9月度は9月16日(受講者1名、講師は大久保委員)に開催予定で、10月度開催する場合は柏木委員を講師とし、以降のローテーションは、最上委員→山内委員…とすることとした。

No.	開催日	開催場所	講師	販社数	受講者数	合格者数	不合格者数
1	7月18日	東北遊商	橘委員(大久保委員)	1	1	1	-
2	8月	無し					
3	9月16日	東北遊商	大久保委員	1	1		

6 第6号議案 設置外中古遊技機・認定機への部品発注に関する件

事務局より、設置外の「中古」及び「認定機」遊技機への部品発注状況の報告がなされた。なお、9月は9月11日時点で「中古」「認定機」いずれも「0件・0台」である。

■2025年度 設置外の【中古】ばちこ遊技機への部品供給の件数、台数（2018/04/01より運用開始）

地区名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		(2025)1月		2月		3月		合計			
	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数												
北海道	2	2	1	1	2	2	1	1	0	0																	6	6
東北	7	33	1	1	3	3	1	1	0	0																	12	38
東日本	13	13	10	10	19	29	22	22	15	15																	79	89
中部	5	6	6	7	3	5	3	3	4	5																	21	26
関西	31	35	32	33	34	34	27	32	23	23																	147	157
中国	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0																	2	2
四国	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1																	3	3
九州	3	5	2	2	0	0	4	4	8	19																	17	30
小計	62	95	52	54	61	73	61	66	51	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	287	351

●2025年度 設置外の【認定】ばちこ遊技機への部品供給の件数、台数（2020/04/01より運用開始）

地区名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		(2025)1月		2月		3月		合計			
	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数	件数	台数												
北海道	0	0	0	0	0	0	7	7	2	2																	9	9
東北	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0																	3	3
東日本	22	22	13	13	26	26	4	4	6	6																	71	71
中部	8	8	2	2	0	0	2	2	0	0																	12	12
関西	7	7	18	18	31	31	18	18	9	9																	83	83
中国	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0																	1	1
四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	0	0
九州	2	2	1	1	10	10	1	1	0	0																	14	14
小計	42	42	34	34	68	68	32	32	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	193	193

【 処理台数調査結果表 】

<別紙3>

[全商協提出用①]

使用済遊技機(廃台)のリサイクル量等調査①

[調査対象期間]2024年4月1日～2025年3月31日

単組名 東北遊商

単組管内処理総台数の処理方法別内訳

(ぱちんこ遊技機については本体38kg、盤15kg、枠23kg、回胴式遊技機については1台38kgとして算出)

区 分	種 別	ぱちんこ遊技機		回胴式遊技機		合 計		
		内 訳	合 計	内 訳	合 計	内 訳	合 計	
1. リサイクル量	選定業者	1207 ト	1207.17	694 ト	693.61	1901 ト	1900.78	
	その他業者	0 ト		0 ト		0 ト		
内 訳	(1) パーツ (処理業者がメーカーに戻した部品)	選定業者	86 ト	86	50.5 ト	50.54	137 ト	136.54
		その他業者						
	(2) パーツ (処理業者が販売した部品)	選定業者		0		0		0
		その他業者						
(3) マテリアル(素材)リサイクル	選定業者	1121 ト	1121.17	643 ト	643.07	1764 ト	1764.24	
	その他業者							
2. サーマルリサイクル(熱源利用)	選定業者	116 ト	116.01	238 ト	237.82	354 ト	353.83	
	その他業者							
3. 残さ量	選定業者	47.3 ト	47.32	9.91 ト	9.91	57.2 ト	57.23	
	その他業者							
総 合 計	選定業者	1371 ト	1370.5	941 ト	941.34	2312 ト	2311.84	
	その他業者	0 ト		0 ト		0 ト		

※ 1.のリサイクル量はパーツ(1)(2)とマテリアル(3)の合計

(処理台数)

区 分	ぱちんこ遊技機				回胴式遊技機
	本 体	盤のみ	枠のみ	合 計	
選定業者	29522 台	4597 台	7813 台	41932 台	24772 台
その他業者					
合 計	29522 台	4597 台	7813 台	41932 台	24772 台

調査対象組合員数 31 社 回答組合員数 31 社

※ 「選定業者」とは、遊技機リサイクル推進委員会で選定された遊技機リサイクル業者のことです。

※ 引き続き「別紙4」をご記入ください。